



導入したその日から
データを栽培に活用できる

だから

「儲かる」農業を目指せる
露地にも、施設にも使えます

こんな課題はありませんか？

- ✓ 収穫時期を見極めたい
- ✓ 秀品率をあげたい
- ✓ 気候変動があっても収穫量を安定させたい
- ✓ 栽培技術の指導・継承を行いたい



各種予測アラート

収穫適期や病害虫の発生予測をアラートでお知らせ。収穫適期に必要な人員を配備したり、最適なタイミングでの一斉防除などを可能にします。

後継者育成、技術継承

高齢化や後継者不足といった課題解決を支援。技術の継承、習得時間の短縮化を目指します。地域独自の栽培技術の継承や、技術向上にも活用できます。

品質、収穫量を向上

収集した環境データを植物科学の知見に基づいて科学的に分析し、栽培環境を最適化するための具体的な対策方法を提案します。

イーカカシ e-kakashi を使って大成功

病気や害虫の発生リスクが高まるタイミング、重要な生育ステージの予測、さらには土壌水分量の5日間予測まで。e-kakashiは、ちょっと先の未来をアラートで知らせます。導入したその日から栽培判断に活かせるため、初年度から増収増益を実現し、初期投資を回収した事例が多数。初年度から効果を発揮する。それがe-kakashiです。

導入事例

様々な農業の課題解決に貢献。今年は猛暑による不作を回避した事例も創出しています。

猛暑でも不作を回避 灌水できるあなたなら大丈夫



近年の気候変動による気温上昇や降水量の減少が顕著になり収量への影響が懸念される中、e-kakashiのデータを活用して灌水の最適化に取り組みました。その結果、雨水に頼った慣行的な栽培区域に比べて収穫量が増加し、L玉の割合も向上。馬鈴薯では慣行区比1.5倍の収量を達成しました。

初年度で技術継承 収量も向上



次世代への技術継承に課題を抱える中、経験年数の異なる農家のほ場にe-kakashiを導入し、環境データを可視化。農業指導員と農家が連携し、データに基づいた科学的な営農に取り組むことで技術の早期習得を実現しました。導入初年度から収穫量は昨年度比1.4倍に増加し、前年のベテラン農家の収量も超える成果を達成。データ活用により作業効率も大きく向上しました。

環境変化を克服 安定的な収量確保



導入3年目の今年も増収を更新。気温上昇や害虫被害が深刻化する中でも、e-kakashiのアラート機能を活用することで環境変化に迅速に対応し、安定した収量を確保しています。前年に記録した土壌水分データを基に灌水量を判断し、必要な作業を即時に実行。さらに光合成に欠かせないCO₂濃度を定量的に把握し、日々の管理に反映させることで、栽培の精度を一層高めることができました。

Greenin

グリーン株式会社

東京都港区港南2-16-2 太陽生命品川ビル28F ☎03-4500-1441

グリーン
ホームページ



e-kakashi
ブランドサイト

